

メロディと編曲の関係性

小山内ゼミ後期報告書

1F 122 千葉峻平

目次

1. 前期の内容、後期の内容
2. メロディ制作
3. コード進行
4. アンケート
5. 編曲作業
6. 完成・まとめ

1. 前期の内容、後期の内容

前期は、メロディと編曲の関係性について既存の楽曲であるレミオロメンさんの「3月9日」を例にして調査した。本来のコード進行、編曲を自分なりに改変して、感じ方などがどのように変わってくるのかを確認したのが前期である。さて、後期で行った調査はメロディを1から作りコード進行を決め、アンケートによって票の多かったほうを実際に曲として完成させるというものである。もともとはフルで完成させる予定だったのだが、思った以上に曲作りがへたなくてワンコーラスが限界だったのが悔やまれる。もっと作曲の技量を磨かなくてはと思った半年間だった。

とはいえて頑張って曲は完成したのでその過程を見てほしい。

2. メロディの制作

まず取り掛かったのが、メロディの制作である。今回想定していた曲調としては、アップテンポな楽しい感じの曲と、バラード系のしんみりした感じの曲である。メロディをただ作るだけならまだどうとでもなるのだが今回は二つの曲調の両方に合う感じのメロディを作らなければならなかつたので、少し制作が難航した。コードとメロディは同時に考える僕としては、二つの曲調に沿ったメロディを作るのは本当に難しかつた。メロディを作るときは、その曲のキーに合つ

たスケールを使用するのが基本である。今回のキーは D#。なので D#メジャー スケールである、「レ # ファ ソソ # ラ # ドレ」を使用してメロディを制作した。それがこちら(音源 1)。

僕はメロディを作るときは基本、鼻歌で歌ったのをパソコンに打ち込むというのをよくやるのだがパソコンの前でいくら歌っても思いつかず、ふろに入っているときになぜか思い浮かんだので急いで録音したのがこのメロディである。最近はなぜか風呂入っている時にメロディが浮かぶことがやけに多いので部屋に風呂を置きたい。そんなことはどうでもよくて、何とかひねりだしたこのメロディ、これから考えるそれぞれのコード進行に合わなければ意味がないのでもし合わなければ考え直しのギャンブルだがなんとかなる精神で行く。

3. コード進行の制作

メロディがひとまず完成したのでコード進行を作っていく。アップテンポな曲とバラードの曲かなり対比な関係にあると思うの少し作るのが楽しかった。まずはアップテンポな曲だが、こちらのコード進行は前期で使用したアニソンに多いコード進行を流用してきた。今回はキーが D#なので「D#/Dm7-5/G7/Cm7/A#m/D#/G#/Gm/Cm7/G#/A#/D#」の順番で進行していく。聞いてみてほしい。(音源 2)。

続いて、バラードな曲。自分自身バラードの曲はあまり作ったことがなく考えるのにめちゃくちゃ時間がかかったが、何とか完成。キーが D#なので「D#/G#/A#/D#/G7G#/D#/F7/G#/A#sus4/A#/D#」となった。聞いてみてほしい。(音源 3)。自分で作ってみてなんか聞いたことがある感じの進行だったのでめちゃくちゃ調べてみた結果、ゆずさんの「栄光の架橋」の間奏部分がほぼ同じ進行だった。バラード曲みたいなものなので今回はこのまま使用することとした。

ということで、メロディとコード進行が完成したところで、アンケートを取る作業をすることとなる。

4. アンケート

今回行うアンケートは、上記の二つの音源を聴かせ、どちらが好きかを直感で答えてもらうものだ。直感での回答を求める理由は、音楽の知識があまりない人も多くいるので内容よりも純粋に好きな法として選んでほしいからである。その方法として、東放学園の友人、インターネット上の友人など累計 30 人ほどの

人に協力してもらい、アンケートを行った。その結果、アップテンポな曲 9 人、バラードな曲 21 人とかなり偏りが出た。それぞれの間奏としては、アップテンポな曲は「テンション高そうで楽しそう」、バラードな曲は「しんみりといい感じ」などの感想をいただいた。ただ今回は直感でのアンケートナタメ感想も直感的な物だなと感じた。じっくり聞いてもらったうえでの感想も気になる。

今回のアンケートの結果として、「バラードな曲」を完成させることとなった。

5. 編曲作業

アンケートの結果からバラードな曲の編曲の作業を行っていく。楽器編成はバラードな曲なので多すぎず少なすぎずということで、「ギター、ベース、ピアノ、アコギ、ドラム」の 5 つ。この楽器編成で編曲していく。BPM は 160。バラードにしては早いと感じるかもしれないが、メロディに対してコードの移り変わりが少なく一回のコードが長いのでちょうどいい感じになる。まずはイントロ、ギターのアルペジオを 2 小節回しただけであるが落ち着いた雰囲気は表現できたと思う、A メロでは、ドラム、ベース、ピアノが入ってくる。楽器は全部自分で演奏しているのだが、本業はギターなのでそのほかの楽器はまず練習するところから始まる。これがまた時間がかかる。まともに弾けるようになるまでかなりの時間がかかってしまった。特にピアノは本当にむずかった。B メロでは上記の楽器にエレキギターが追加されて音の広がりが少し大きくなったり、サビ前の盛り上がりがくるぞっという女装な感じがある。そしてサビ。さびではさらにアコギが追加された。倍音成分を増やして盛り上がっている感じになったと思う。そうして完成した一曲。聞いてみてほしい(音源 3)。

6. 完成、まとめ

そんなこんで、一曲がとりあえず完成した。前期から振り返ってみると。想定したものとはかなりかけ離れた調査とできになってしまい悔いが残る。自分の本来の考えていなかつたため少しだけ大きすぎる目標を立ててしまったのが今回の敗因と言えるだろう。だが、メロディに対して、二つのコード進行を付ける作業はなんだかんだ初めてで面白かったし、アンケートの際、友人たちに曲を聴いてもらい感想をもらうというのもあまりやったことがなかったので参考になつたし、今後普通に曲を作るときもやってみようと思う。また、楽曲に対して直感ではあったが編曲の差であのよう結構差が出るとは思っていなかつたのでも

う少し自分なりに調査することで、いい曲を作るための材料になるかもしれないと思った。

二年次でもこのゼミを撮ることがあったら今度はしっかりと自分の力量を図り計画的に活動していきたいと思った。

一年間ありがとうございました。